

在宅看取り－佐渡でできること

2016.10.10 佐渡総合病院

現在、この広い佐渡で在宅看取りができる訪問医、訪問看護師の確保は難しい状況です。多くの方が病院や施設でご逝去されますが、在宅看取りのご希望があれば主治医にご相談ください。お看取りで一番大切なのは、みんなの思いを伝え合う双方向の「対話」です。

これからについて、みんなで集まって何度も話し合しましょう

- ご本人がご高齢となり、認知症がすすんで反応がよわくなっているとき
 - 自分の力で口から食べることができなくなっているとき
 - 老衰でなんども誤嚥性肺炎をくりかえし、ねむりがちでなかなか治らないとき
 - がんの末期で、何名かの医師からすでに有効な治療法がないと言われているとき
 - 脳卒中で、意識の回復が望めないほどの重い脳障害があるとき
- ⇒ ご本人、ご家族、ご親戚、お仲間、それぞれのお気持ちやお考えを大切にします
- ⇒ **ご遺体の安置場所、遺影、連絡先リスト、葬儀社、ご予算**を話し合っておきます

最終段階で苦しそうに見えても、ご本人に意識はなく、苦しくはありません

- 眠っている時間が長くなり、声かけへの反応もなくなります
- つじつまの合わないことを言ったり、バタバタ落ち着かないこともあります
- のどもとで、ゴロゴロといういやな音がすることがあります
- 呼吸のリズムが乱れて不規則になり、呼吸とともに肩や下あごが動きます
- 手足は青白く冷たくて脈が触れにくくなり、長い間、呼吸が止まります

大切なのは呼吸が止まるときではなく、それまでをいっしょに過ごす時間です

- ありがとうの想いを聴き、ありがとうを伝えつつ、手足をやさしくマッサージする
- いつものように家族ですごして幸せだったお話をし、ときどきよびかけ声をかける
- ご本人がお気に入りだった音楽を流したり、香りを整えたりさせていただく
- くちびるをご本人が大好きな飲み物で湿らせてあげる

A. 長く呼吸を休まれるようなら 119 番、救急車を呼びます

「医者からそろそろお別れですねと言われていました」と救急隊に告げましょう
救急隊員の皆さんが心づかいしながら病院に搬送し、医師がお看取りいたします

B. 朝、穏やかに冷たくなっていたときには 110 番に連絡します

心肺停止の方は医師が死亡確認し、死亡診断書（死体検案書）を発行いたします